

令和 8 年度

福山大学大学院薬学研究科(博士課程)

学 生 募 集 要 項
推 薦 入 試

福山大学大学院薬学研究科

令和8年度 福山大学大学院薬学研究科

博士課程推薦入試 学生募集要項

1. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福山大学薬学研究科は、医療に貢献できる高度の知識と実践力を身に付けた、高い研究能力を有する人材を養成することを目指し、科学的思考力と探究心を備え主体的に学ぶ態度をもって、次のように積極的に専門分野の研究に取り組む人を受け入れる。

1. 医療に関する諸問題を広く考究し、専門分野の研究を通して医療の進歩や学問の進展に寄与できる人。
 2. 実社会において薬剤師など医療技術者として活動し、知識と実践力を高め、研究能力を磨くことのできる人。
 3. 医療の現場において必要な医療人としての倫理観を養い、良好な対人関係能力を有する人。
- (HP 参照 : <https://www.fukuyama-u.ac.jp/course/grad/grad-pharm/grad-pharm-policy/>)

2. 募集人員

取得学位	専攻	募集人員
博士（薬学）	医療薬学専攻	若干名

3. 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 令和8年3月に本学薬学部を卒業する見込みの者
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、研究室担当教員が責任を持って推薦できる者

4. 出願書類

次の書類を添えて、本学薬学部事務室（未来創造館3階）に持参するか、簡易書留郵便で出願期間内に必着するよう郵送してください。

1. 入学願書・受験票（本学研究科所定のもの）
2. 卒業見込証明書（本学において作成し、厳封したもの）
3. 成績・単位修得証明書（本学において作成し、厳封したもの）
4. 推薦書（本学研究科所定のもので、研究室担当教員が作成し、厳封したもの）
5. 健康診断書（本学研究科所定のもので、令和7年4月以降に病院または保健所等で受診し、医師が作成・証明したものを提出してください。但し、福山大学健康診断証明書をもって替えることができます。）
6. 志望理由書（本学研究科所定のもので、1,200字程度にまとめたもの）
7. 写真2葉（縦5 cm × 横4 cm）

最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入学願書及び受験票に貼付してください。

8. 振込取済証明書（検定料の納付書：本学研究科所定のもの）

5. 出願期間

令和8年2月5日（木）から令和8年2月18日（水）【期間内必着】

※出願書類を持参する場合の受付は、9時30分から16時までとします。

但し、土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません。

6. 検定料 30,000 円

本学研究科所定の振込依頼書で銀行振込みし、「振込取済証明書」を出願書類とともに提出してください。

7. 入学試験【入学者の選抜は、面接試験の成績及び出願書類の内容を統合して行います。】

- (試験日時) 令和8年2月26日(木) 13:00～
(試験場所) 未来創造館10階大学院コラボレーションルーム
(試験科目) 面接試験

8. 合格発表及び入学手続

- (合格発表) 令和8年3月5日(木) <薬学部事務室前掲示板へ掲示及び本人宛通知>
(入学手続締切日) 令和8年3月13日(金)

9. 注意事項

- (1) 受験者は、受験票を入学試験当日に持参すること。
(2) 一度提出した出願書類及び検定料は理由の如何を問わず返却しません。
但し、諸納入金納入後に入学を辞退する場合は、令和8年3月25日(水)までに申し出た場合に限り、入学金を除いた額(授業料・学友会費・後援会費)を返還します。

10. 学納金(参考：令和7年度入学生分)

費目 \ 納入時期	前期納入	後期納入	合計
入学金	200,000円 ^{※1}	—	200,000円 ^{※1}
授業料	650,000円 ^{※2}	650,000円 ^{※2}	1,300,000円 ^{※2}
実習費	50,000円 ^{※1}	—	50,000円 ^{※1}
計	900,000円	650,000円	1,550,000円

(受託徴収金)

学友会費	5,000円	—	5,000円
後援会費	10,000円	—	10,000円
計	15,000円	—	15,000円

※1 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、入学金及び実習費は全額免除となります。

※2 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、授業料は、年額780,000円となります。

11. 個人情報の取り扱いについて

本学では、出願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務のために「福山大学個人情報管理基本方針」の定めるところにより取り扱います。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

12. 障害のある受験生への支援について

- (1) 受験に必要な支援についてのお問い合わせ
福山大学大学院薬学研究科 入試係(薬学部事務室)(連絡先は以下を参照)
(2) 入学後に必要な支援についてのお問い合わせ
福山大学 障害学生支援室 TEL: 084-936-2112(内線: 2271)

13. 問い合わせ先及び出願書類提出先

募集要項等に関する問い合わせ及び出願書類の提出先は、「福山大学薬学部事務室」まで
【〒729-0292 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1 (TEL: 084-936-2111)】

14. 研究内容（令和7年4月時点）

教 員	研 究 内 容
<p>分子薬学コース群</p> <p>井上裕文 教授 小嶋英二郎 教授 重永 章 教授 町支臣成 教授 秦 季之 教授 小川祥二郎 准教授 上敷領 淳 准教授 本屋敷敏雄 准教授 前原 昭次 准教授</p>	<p>○分析試薬の開発に関する研究（井上（裕）） ○生体成分の分析に関する研究（井上（裕）） ○医薬品の分析に関する研究（井上（裕）） ○血液成分分析に関する研究（小嶋） ○血液型物質に関する分子生物学的研究（小嶋） ○生体試料中微量生理活性物質の精密分析法開発に関する研究（小川） ○多機能誘導体化試薬のデザイン・合成とそれらの分析化学的応用に関する研究（小川） ○有機化学的視点からの生命科学研究用ツールの創成（重永） ○ペプチドや脂質の化学合成法開発と生命科学分野への展開（重永） ○電子環状反応を活用する生理活性含窒素天然物・複素芳香環合成への展開と活性評価（町支） ○タンデム型環化反応による生理活性天然物・複素環合成とリード探索研究（町支） ○生理活性天然物・複素芳香環の新規合成から活性構 評価及び医薬素材探索研究（町支） ○酵素反応度論と計算化学の相補的利用による酵素反応機構の解析（秦） ○分子シミュレーションによるリガンド-タンパク質複合体の解析（秦） ○植物内生菌(エンドファイト)と宿主植物の共生関係の解明（前原） ○生物活性天然物質の探索及び高付加価値物質への生物化学的変換（前原） ○コレステロールトランスポーターによる基質の認識および輸送機構の解明（上敷領） ○de novoデザイン分子を利用したタンパク質の機能制御に関する研究（上敷領） ○がん細胞の増殖と脂質代謝に関する研究（本屋敷） ○RIA及びRRAによる蛇毒液中の生理活性物質の探索に関する研究（本屋敷）</p>
<p>病態制御学コース群</p> <p>井上敦子 教授 片山博和 教授 今 重之 教授 佐藤雄己 教授 田中哲郎 教授 田村 豊 教授 道原明宏 教授 松岡浩史 教授 大西正俊 准教授 渡邊正知 准教授</p>	<p>○脳神経変性疾患に関する研究（大西） ○がん、自己免疫疾患、線維化疾患の増悪化における細胞外基質と細胞間接着機構の解明（今） ○インテグリンを介する接着の免疫細胞に及ぼす機能解明（今） ○医薬品および生理活性物質の高感度・高特異的体液中濃度測定法の開発（佐藤（雄）） ○生理活性物質の生体内挙動解析に基づく病態の成因解明（佐藤（雄）） ○医薬品の PK/PD 解析に基づく新規投与法の開発（佐藤（雄）） ○能動輸送機構を介する標的指向性プロドラッグの合成と評価（田中） ○ハムスターの冬眠制御機構解明に関する研究（渡邊） ○タンパク質翻訳後修飾機構の異常と脳神経疾患の関連性に関する研究（渡邊） ○脳卒中発症機構に関する研究（道原） ○コレステロール合成経路の解明（道原） ○循環器疾患の治療標的分子に関する研究（松岡）</p>
<p>社会環境薬学コース群</p> <p>赤崎健司 教授 佐藤英治 教授 杉原成美 教授 高根 浩 教授 竹田修三 教授 木平孝高 教授 坂根 洋 准教授 山下 純 准教授 五郎丸 剛 准教授</p>	<p>○オートファジーにおけるリソソーム膜糖タンパク質の機能解析（坂根） ○リソソーム膜タンパク質の細胞内局在機構（赤崎） ○DNAワクチンの基礎研究（赤崎） ○筋分化の制御に関わるタンパク質の機能解析（坂根） ○薬物治療に関する臨床薬学的研究（佐藤（英）） ○薬学教育および薬剤師の職能向上に関する実践的研究（佐藤（英）） ○生体の低酸素応答に関する研究（木平） ○薬物輸送タンパク質に及ぼすフラボノイドの影響（杉原） ○トランスポーターを介したコレステロールの吸収機構（杉原） ○地域薬局の機能`セルフメディケーションの支援と在宅医療における役割（杉原） ○有機性・無機性環境化学物質による毒性発現機構の解析（竹田） ○大麻をはじめとする不正流通薬物の毒性発現機構の解析（竹田） ○がん増殖機構の解明に関する基礎研究（竹田） ○課題解決を志向した抗菌薬耐性対策サーベイランスシステムの開発とその評価（高根） ○抗菌薬の安全かつ効果的な使い方に関する研究（高根） ○抗菌化学療法におけるEBM実践能力向上を目的とした卒前・卒後教育システムの開発（高根） ○医薬品の相互作用に関する研究（五郎丸） ○医薬品の品質に関する研究（五郎丸） ○生活習慣改善という患者・生活者自身の行動変容に向けて薬剤師ができる支援に関する研究（山下） ○要指導・一般用医薬品添付文書の理解度および適正使用を向上させる要因についての研究（山下）</p>